

平成 25 年 5 月 8 日

平成 25 年 3 月期 決算の概要

株式会社川島織物セルコン
京都市左京区静海市原町 265

(百万円未満切捨て)

1. 25 年 3 月期の個別業績 (平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

(1) 個別経営成績

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25 年 3 月期	32,024	△3.6	1,241	+79.5	1,283	+131.5	222	△10.8
24 年 3 月期	33,215	△9.5	691	+229.7	554	—	249	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25 年 3 月末	25,077	10,236	40.8
24 年 3 月末	27,819	10,017	36.0

2. 経営状況について

【全体状況】

当事業年度は、LIXIL グループ内での更なるシナジー効果創出のため、LIXIL 京都ショールームを皮切りに全国の LIXIL ショールーム内に当社ショールームやカーテンコーナーをオープンしたのを始め、LIXIL グループの手法を取り入れた生産性向上活動を強化するなど、基盤の構築を進めました。

商品面では、建て替えを終え今春開場した第五期歌舞伎座や大阪のフェスティバルホールなど、大きな話題と注目を集めた物件に緞帳や内装材を納入し、その技術力・芸術性に高い評価をいただきました。またインテリア商品では、全点ケミカルリサイクル対応のオーダーカーテンシリーズ「FELTA(フェルタ)」をリニューアル発売し、日本市場における総代理店となったタイルカーペットの世界トップシェア企業であるインターフェイス社（米国）製品の販売を強化しました。

当事業年度の売上高は、前年同期比 11 億 91 百万円（3.6%）減収の 320 億 24 百万円となりました。減収の主な要因は、身装・美術工芸事業の売上高が大きく伸びた一方で、事業規模の大きいインテリアファブリック事業の売上高が減少し、前年を割り込んだことによるものです。

損益は、全社をあげての生産性向上活動や原価低減・経費削減の効果などにより大幅に改善し、営業利益は前年同期比 5 億 49 百万円増益の 12 億 41 百万円、経常利益は前年同期比 7 億 29 百万円増益の 12 億 83 百万円となりました。当期純利益については、特別損失として関係会社株式評価損などを計上したことから、前年同期比 26 百万円減益の 2 億 22 百万円となりました。

【事業別状況】

[身装・美術工芸事業]

緞帳や祭礼幕を取り扱う美術工芸部門が、大型案件納入による貢献もあり大幅に売上を伸ばしたことから、売上高は前年同期比 2 億 16 百万円（9.9%）増収の 23 億 96 百万円となりました。営業利益は、売上高の増加に加え、原価低減や経費削減の効果などにより、前年同期比 1 億 19 百万円増益の 3 億 8 百万円となりました。

[インテリアファブリック事業]

他社製品の売上高が減少したことに加え、インテリア雑貨・小物など OEM 商品の戦略見直しを進めたことの影響などから、売上高は前年同期比 14 億 2 百万円（4.5%）減収の 296 億 27 百万円となりました。営業利益は原価低減や経費削減の効果などにより、前年同期比 4 億 46 百万円増益の 10 億 12 百万円となりました。

以上